

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立笹川中学校

校長 齋藤 孝太郎

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティーづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとし、そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

① 自治会協力による除草作業

例年実施されているPTA除草作業と連携し、西日野町・東日野町の各自治会の皆様にも、事前の除草作業をしていただきました。当日はマスク着用のうち大変暑い中での作業となりましたが、みるみる草が刈られていき、校内が見違えるように美しくなりました。



② 授業参観

普段の授業の様子を参観いただくことで、生徒の様子や授業の進め方について様々な角度からのご助言をいただきました。また、限られた条件の中で学校運営や、効果的な施設や時間の使い方等、多くのご意見やご助言をいただき、改善に繋げていくことができました。



③ ゲストティーチャーによる講演

3年生の多文化共生学習と2年生の郷土学習の取り組みの中で、それぞれ地域の方を講師に招いてお話を伺う機会を持ちました。普段の授業では聞けないお話に、子どもたちは興味深そうに聞き入っていました。



#### ④ 読み聞かせボランティア

3年前から始まった地域ボランティアによる読み聞かせは、子どもたちにも好評で、本年度も2日に亘り行っていただきました。今回も感染症拡大防止のため、ICTを使ったりリモートによる読み聞かせとなりましたが、感情豊かに語っていただき、子どもたちを絵本や物語の世界へと誘っていただきました。



#### ⑤ 自治会との連携による地域清掃活動（今年度は連携中止）

3年生が卒業間際に地域への感謝を込めて行っている地域清掃では、毎年、校区の各自治会にお世話になり、地域の方と一緒に清掃活動を実施してきました。今年度は新型コロナウイルス感染症の「まん延防止等重点措置」の期間であったため、清掃範囲を縮小した中学校単独での実施となりましたが、子どもたちにとっては、あらためて自分たちの暮らす地域を見つめ直す良い機会となりました。



#### (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コロナ禍の影響で地域と関わりのある行事・活動がなかなか行えない中、昨年度以上に地域と子どもたちの繋がりが深まる機会を増やすことができました。多くは、コミュニティスクール委員の皆様を中心とした働きかけのおかげであると感謝しております。また、これまで以上に地域の方に来校いただく機会も増え、学校もこれまで以上に情報発信を意識するようになり、本校のホームページも精力的に更新することができました。その成果もあり、今年度もホームページへのアクセス数が増加し、本校に対する関心と期待の高まりを実感することができました。今後も地域のご期待に添えるよう、さらなる改善をしていきたいと思っております。

### 3 今後に向けて

今年度も昨年度の課題を踏まえながら、学校や教師、生徒が地域のために貢献できるような活動を進めていくことができました。ただし、働き方改革やICTを活用した教育等、世の中の流れに合わせて、学校が急速な勢いで変わらなければならない時代に突入しています。そのような意味でも、今後はますます、コミュニティスクール委員の皆様からの貴重なご意見をもとに、新たな一歩を踏み出していけるよう、努力していきたいと考えています。さらに、笹川中学校コミュニティスクールならではの協働性や連携を誇れるものにしていけるよう、しっかりと構築していきたいと考えています。